

第 2 7 回宇宙開発委員会（臨時会議）

議 事 次 第

1. 日時 昭和 5 1 年 1 1 月 5 日（金） 午後 2 時～ 4 時
2. 場所 宇宙開発委員会会議室
3. 議題

- (1) 放送衛星用チャンネル数等の要求について

（説明者 郵政省電波監理局宇宙通信企画課長）

石 田 彪

- (2) N A S A 職員による S T S 説明会等の概要について

- (3) 科学技術庁の宇宙開発方針について

4. 資料

委 2 7 - 1 第 2 - 6 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨

委 2 7 - 2 放送衛星用チャンネル数等の要求について

委 2 7 - 3 S T S （宇宙輸送システム）説明会（要旨）

委 2 7 - 4 米国航空宇宙局（N A S A）の職員と我が国の宇宙開発関係者との会談議事要旨

委 2 7 - 5 宇宙開発方針について

第26回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 要 旨

1. 日時 昭和51年10月20日（木） 午後2時～4時
2. 場所 宇宙開発委員会会議室
3. 議題
 - 国際海事衛星システム（インマルサット）の設立に
関する第3回政府間会議の概要について（報告）
4. 資料
 - 委26-1 第25回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨
 - 委26-2 国際海事衛星システム（インマルサット）の
設立に関する第3回政府間会議の概要について
（参考配布） ○ 昭和51年度8～9月期における
ロケット打上げ結果の評価について

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理

網 島 毅

“ 委員

吉 識 雅 夫

“ “

八 藤 東 禎

説明者

郵政省大臣官房電気通信参事官

日 高 英 実

関係省庁職員等

科学技術庁長官官房参事官

佐 伯 宗 治

気象庁総務部長

宇津木 巖

（代理：高谷）

海上保安庁総務部長

鈴 木 登

（代理：佐藤）

郵政省電波監理局審議官

門 田 博

（“：石田）

建設省大臣官房技術参事官

細 川 弥 重

（“：馬場）

郵政省大臣官房電気通信監理官室

蝶 野 光

郵政省電波監理局

瓦 昭 男

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

伊 藤 栄 一

“ 宇宙国際課長

三 浦 信

“ 宇宙開発課長

雨 村 博 光 他

6. 議事要旨

- (1) 国際海事衛星システム（インマルサット）の設立に関する
第3回政府間会議の概要について（報告）

郵政省大臣官房の日高英実電気通信参事官から資料委26-2に基づいて説明が行われたのち、以下の質疑応答が行われた。

吉識：出資率が25%をうわまわつた時、うわまわつた分を譲渡するというのが、譲り受けるのは、投票権のみか、それとも金を出すのか。

日高：実際に金を出して出資率を譲り受けるということである。

網島：30%の出資率の国が残り5%を譲渡したい時、引き受ける国がなかつた場合には30%の投票権を持つのか。

日高：買う国があるのに売らないときは25%の投票権のみとなるが、売る意思があつてもそれを買う国がない場合は25%以上の投票権を有することができる。

吉識：現実には25%を越えた国があるのか。

日高：まだないが、初期出資率は宇宙部分の使用見込に基づいており、今後実用に移され、実際の使用率が高ければ越える国が出るかもしれない。

吉識：利用率が出資率を越える場合どうなるのか。

日高：発足後、2年すえおきのうえ、毎年出資率を改訂し、使用率に合わせることになつている。

網島：インマルサット、マリサット及びマロツツの業務が重複することはさけられるのか。

日高：インマルサットができてすぐ衛星打上げとはいかず、当面はマリサットかマロツツの衛星を賃借し、または購入して業務を行うものと思われる。

ご承知のとおり海事衛星については、米国のマリサットシステムがすでに運用を開始しており、欧州諸国もマロツツシステムを計画中である。米国と欧州との間では、インマルサットを既存のシステムを土台にして発足させること、またその際にはマリサットシステムだけではなく、マロツツシステムをも考慮のなかにいれるということで妥協ができあがりつつあるようだ。ただし、欧州側もマロツツの一部設計変更を行い、船上端末としては現在マリサット用に使用されているものを使用するという譲歩を行つたと聞いている。

(3)

いずれにせよ、インマルサットの技術仕様については、これからの各国の外交かけひきの対象となろう。

吉識：インマルサットはいくつ衛星を上げるのか。

日高：まだわからない。マリサット及びマロツツの両システムを土台にするということであれば、インマルサットは当初衛星4個を使用するということになる。

もつとも、衛星4個によるグローバルシステムの運用は、周波数有効利用の見地からは好ましいことである。

八藤：郵政省では米国とヨーロッパ諸国との話合いの情報を得られないか。

日高：情報が得られるよう努力したい。

(2) 前回議事要旨について

第25回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨が一部修正のち確認された。

(4)